

2009年度

科目名	美術史概論		
担当教員	吉原 忠雄		
配当	文財1	コード	42550
開期	後期	講時	木曜日2限
		単位数	2
授業テーマ	美術史理論の歴史		
目的と概要	日本美術史学は、明治以後、西洋美術史学理論を取り入れて発展してきた。したがって、ルネサンス以来の西洋美術史学理論の歴史をたどりながら、それらの理論を理解し、実践することによって、西洋と日本の美術をより深く理解する。各回の冒頭に、美術展覧会のさわりを映し、できるだけ美術に興味をもってもらう。		
成績評価法	平常点とレポートにより評価する。		
テキスト			
参考書			
履修に当たっての注意・助言			
講義計画			
1 美術品を観る場 2 美・美術・美術史 3 美術史学の方法―作品記述 4 美術史学の方法―比較 5 ヴァン・ゴッホ『美術家列伝』 6 情念表現理論 7 デコールム理論 8 ラオコーン論争 9 ホルバイン論争 10 ヴェルフリン『美術史の基礎概念』(1) 11 ヴェルフリン『美術史の基礎概念』(2) 12 図像学 13 パノフスキー『イコノロジー入門』(1) 14 パノフスキー『イコノロジー入門』(2) 15 まとめ			